

第6回 病院船の活用に関する検討会 議事要旨

1. 検討会の概要

日時：令和3年3月23日 火曜日 14時00分～15時00分

場所：中央合同庁舎第8号館3階 災害対策本部会議室

出席者：福和座長、小井土座長代理、庄司委員、高橋委員、中出委員、中田委員、半田委員、堀田委員、山口委員、青柳政策統括官、村手審議官

※出席者には、WEBによる出席を含む。

【オブザーバー】 島田内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（災害緊急事態対応担当）

永田厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室長

若穂囲防衛省整備計画局防衛計画課業務計画第二班長

峰本国土交通省海事局安全政策課長

益本海上保安庁総務部政務課海上保安企画官

2. 議事概要

事務局から検討会報告書案等について説明した後、意見交換を行った。主な意見等は次のとおり。

【報告書及び報告書概要版について】

- 報告書について、特段の意見なし。最終とりまとめは座長一任とする。
- 報告書概要版について、下記3点の趣旨を盛り込む形で修文する。
 - ・ 船舶は、自己完結的に海上で活動できる等の優位性を有すること
 - ・ 接岸しての医療活動が困難なのは、発災直後早期に限ったものであること
 - ・ 500床規模の病院船に比して、より小規模の病院船であれば、機動的な対応が可能であること

以上